

あしや 市議会 だより

2024年5月 No.128

じぶん大好き! みんな大好き!



精道
こども園

近くには芦屋川や公園もたくさんあり豊かな自然に触れることができます。1・2階の畑では子どもたちと一緒に四季折々の野菜を育て、食育にも取り組んでいます。0歳から5歳までの子どもたち一人一人のあるがままの姿を大切にしながら、日々楽しく生活・遊びを積み重ねる中で考えたり工夫したりする力を育てています。

●注目の議案をPick up ●令和6年度予算～新年度事業を問う!～ ●総括質問

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

令和6年
3月定例会
2月16日～
3月22日
(36日間)

3月定例会では全部で50件(市長提出議案…47件、議員提出議案…1件、請願…1件、陳情…1件)の議案等が審議されました。今号では、この中から4つの項目をピックアップして紹介します。

Pick up1

(第26号議案)
マンションの管理の適正化の推進に関する条例を制定

可決
(全員一致)

委員会での質疑

内容
管理組合によるマンションの自律的で適正な管理を推進し、その資産価値の保全や居住環境の確保を図ることに加え、マンションの周辺環境への配慮を促すことにより、市民生活の安定や本市の魅力の向上に寄与することを目的とするもの。(令和6年7月1日施行)

議員 現状において管理不行き届きとなっているマンションを把握しているのか。

市 マンションの外見上、明らかに管理不行き届きとなっているところはないと考えているが、長期修繕計画や修繕積立金の状況などについては届出制度によって把握していく。

議員 居住者に関する責務について条例で触れていない理由は？

市 共同住宅の居住者と地域コミュニティとの関わりは他の取り組みで行っており、本条例では管理組合にマンションの維持管理や周辺環境への配慮に対する意識を持ち続けてもらうことを目的としているためである。

議員 マンションの老朽化に伴う建て替えに対する考え方は？

市 マンションの建て替えは非常に困難であり、優先順位としては長く維持できるような管理の適正化を促すことと考えているが、建て替えの意思のある管理組合からの相談は前向きに受けしていきたい。

議員 9戸以下のマンションの管理組合について、管理状況の届出義務を課さないこととした理由は？

市 国のマンション長寿命化促進税制の要件に合わせていること、また戸数の少ない区分所有マンションであれば比較的合意形成しやすいためである。

議員 本条例における公表等の取り扱いをどのように考えているのか。

市 公表することが目的ではないが、適正な管理ができておらず、指導・勧告をしても改善されない場合には公表できることとしている。

市に対する意見・要望など

高齢者が管理組合の理事を担うこともあるため、届出の様式は文字の大きさなども含めて分かりやすいものとし、窓口においても柔軟に対応してほしい。



Pick up2

(第25号議案)
敬老祝金支給事業を廃止

可決
(賛成多数)

議員 敬老祝金制度の廃止に係る周知期間を設け、段階的に支給額を減額していく手法も取れないのではないかと。

市 これまでも制度の見直しを図ってきているが、今後も支援を必要とする高齢者の増加が見込まれている中で、高齢者の相談支援体制の強化や認知症施策等の推進にしっかりと取り組んでいく必要があったため、廃止の判断に至った。

内容
高齢者人口の増加による社会構造の変化を踏まえ、高齢者福祉政策全体の見直しを図る中で、芦屋市敬老祝金制度を廃止するもの

委員会での質疑

議員 これまで長年にわたり、社会に尽くしてくれた方々を大事にしていく市でなければならぬのではないかと。

市 市民の皆さんからの税金を、どのように使えば、より多くの市民にメリットがあるのかを考えなければならぬ。敬老祝金を楽しみにしている方がいるのは十分に理解しているが、税金の使い方として、個人個人への給付ではなく、環境に投資することにかじを切るべきであると判断した。

議員 敬老祝金制度の廃止によって、本市での長寿を祝うという精神が薄れてしまわないか。

市 敬老会など、引き続き行う事業の中で、敬老のメッセージがしっかりと届くように検討していく。



議員 100歳高齢者祝福事業に係る記念品の選定について、再度検討できないのか。

市 記念品からカタログギフトに変更した市もあると聞いているため、検討したい。

議員 敬老祝金制度の廃止に代わる、高齢者の生きがいや健康増進につながるような施策はあるのか。

市 外出機会の確保につながる高齢者バス運賃助成事業、通いの場や介護予防教室などを通して、高齢者の健康増進等につなげていきたい。

◎推進していく施策

- | |
|---|
| (1) 包括的な相談支援体制の強化
・高齢者の総合相談窓口である高齢者生活支援センターを増設
(令和6年度中) |
| (2) 介護人材の育成および確保に関する施策の拡充
・介護人材養成支援事業による研修受講費の一部補助を実施
(令和元年度から)
・介護人材の確保に向けた補助制度の創設など新たな施策を開始
(令和7年度予定) |
| (3) 災害時の要援護高齢者の避難支援体制の強化
・防災と福祉の連携による個別避難計画策定促進事業の実施
(令和6年度から) |
| (4) 認知症関連施策の充実
・認知症高齢者個人賠償責任保険事業を実施
(令和5年10月から) |

市に対する意見・要望など

本市では、敬老祝金制度と100歳高齢者祝福事業は別事業となっているため、敬老祝金制度の廃止により、長寿をお祝いすること自体がなくなってしまうイメージがある。同じ事業にすれば、祝い金か祝い品かを選択する手法も取れるのではないかと。

Pick up3

(第19号議案)

打出教育文化センターをリニューアル

内容

大規模改修後の打出教育文化センターについて、教育に関する研究等を行うことに加え、市民の文化活動を推進し、市民相互の交流の活性化を図る場として活用できるようにするもの。

打出教育文化センターと打出公園の改修工事に伴い、令和5年9月から閉館・閉園していましたが、このたび改修工事が終了し、令和6年4月1日からリニューアルオープンしました。詳細については市ホームページ「記QRコードを参照」をご覧ください。



リニューアル後の「うちぶん(打出教育文化センター)」



委員会での質疑

議員 具体的に想定されている「教育に関する研究」とは何か。

教委 教職員の研修や教育に関するサポートなどを想定しているが、今後、教職員の方にもより活用してもらえるようにアピールしていく。

議員 使用時間を1時間単位とした理由は？

市 市民や大学の方を交えたワークショップの中で「1時間単位のほうがもっと利用しやすいのではないか。」との意見があったためである。

議員 貸室はインターネットで予約できるのか。

教委 令和6年4月以降、予約システムが稼働するため、登録団体であれば予約は可能である。

議員 打出教育文化センターが借りやすくなった半面、のびのび学級※に通級する子どもたちに影響は出ないのか。

教委 施設を利用する団体の登録時などに、当該施設にはのびのび学級があることを丁寧に説明していく。

※のびのび学級とは、不登校または不登校傾向の子どもたちのために設置されたスペースで、さまざまな活動を通じて、学校への復帰や社会的自立に必要な力の育成を目的としている。

可決 (全員一致)

Pick up4

(第20号議案)

訪問型の産後ケア事業を新設

内容

産後ケア事業※において、新たに訪問型支援事業に係る利用料を定めるとともに、通所型および宿泊型の支援事業に係る利用料の改定を行うもの。

※産後ケア事業とは、市内にお住まいの出産退院後の母親と1歳未満の赤ちゃんを対象に、宿泊・通所・訪問による心身のケアや健康管理を行うもの。

詳細については、市ホームページ(下記QRコードを参照)をご覧ください。



委員会での質疑

議員 「訪問型」が新たに加わることで、内容はどのように変わるのか。

市 これまでの育児支援家庭訪問事業では、利用料は無料であったものの養育環境など一定の条件があった。今回の訪問型の産後ケア事業では、利用料が生じる場合もあるが、幅広い方々に産後ケア事業を利用してもらうことが可能になる。

議員 今後、産後ケア事業の利用者は増えていくのか。

市 現状では利用人数が増えているような傾向は見られないが、早めにケアを受けてもらうことが重要であると考えられるため、今後、事業の周知を図っていく。

議員 出産・育児等に係る相談対応はどうなっているのか。

市 保健師等が母子健康手帳交付時や妊娠8か月前後、こんにちは赤ちゃん訪問事業を通じて支援を行っているが、より深くサポートが必要な方に関しては産後ケア事業を利用してもらいたい。

議員 改正後のキャンセル料はどのような取り扱いになるのか。

市 キャンセル料が発生しないキャンセルが可能なのはこれまでよりも少し前倒しになる可能性はあるが、キャンセル料は利用料の半額程度になるように設定したいと考えている。



可決 (全員一致)

可決した意見書

令和6年3月定例会で可決した意見書につきましては、地方自治法第99条の規定により、芦屋市議会からそれぞれの提出先に提出しています。

厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書 (議員提出議案第4号)

賛成多数

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

【内容】

国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、国民的理解と合意に努めながら、国に対し、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を実現するよう強く求めるもの

意見書の詳しい内容については、市議会ホームページ「議員提出議案の審議結果(令和5～8年度)」(右記QRコード参照)をご覧ください。



調理器具や食器が揃った貸しキッチン (作った料理を併設する飲食スペースで食べることもできます)



1階ホール (本や新聞を読んだり、のんびりと過ごせるスペースです)

【市に対する意見・要望など】
● 1時間単位での利用や使用時間に切れ目がなくなったが、利用者が時間ぎりぎりまで使うことにより、その後利用される方との間にトラブルが生じないか不安な面もあるため、注視してほしい。
● 打出教育文化センターの本来の目的は、不登校や不登校傾向の子どもたちのために設置された場所であるとともに、教職員の研修の場であるため、その視点はしっかりと持ってほしい。



令和6年度(2024年度) 予算が成立しました



新年度事業を問う! ~予算審査での意見・要望(抜粋)~

何歳になっても生き生きと活躍できる芦屋

ブランディングエリア活性化事業 …… 800万円

- JR芦屋駅南地区再開発事業を起点として、茶屋之町、大榎町、宮塚町などのエリアをにぎわいと活気のある公園や旧宮塚町住宅などを活用して、新たなまちづくりに取り組んでほしい。
- 事業を進めるに当たり、市が企画に関わる方々や地域住民と共通認識を持ち、コンセプトを定め、認識を統一することが重要である。茶屋さくら通りエリアの魅力を生かしつつ、今までにない道路空間の活用にも期待したい。



地域公共交通実証運行支援業務

…………… 2,425万5千円

- 車椅子などの利用も踏まえた実証運行を求める。
- デマンド交通に限らないような選択肢も検討し、それぞれのメリット・デメリットを把握すべきと考える。
- 公共交通の空白地域の課題解決に向けての事業であり評価する。デマンド交通導入の効果や地域への適合性の検証が有効な判断材料になることを願う。

圧倒的に子育てしやすい芦屋

こどもの居場所支援事業 …… 87万2千円

- 活動拠点を「あしふく」だけに限定せず、市内の全ての子どもが対象となり、学校以外でも地域に密着した形で中高生が交流できる場となるよう強く求める。
- 中高生の居場所が広がることは喜ばしい。利用しやすい施設運営を求める。



保育システムの導入 …… 221万7千円

- 連絡帳等の電子化を進めているが、これまでの手書きの連絡帳は、保育所等に通っていた時は育児書としても活躍し後世にも受け継がれるものである。子育ては、祖父母も関わりを持つので、これまでの方式も残し、どちらでも選択できるようにしてほしい。
- これまでの紙媒体とは違う情報管理のリスクがある。情報の取り扱いの研修をするなど、今以上に慎重な管理を求める。

産後ケア事業の拡充 …… 1,377万円

- 産後ケア事業の拡充を高く評価する。産後うつなどを未然に防ぐには「睡眠時間の確保」が重要だと考えているため、「相談」に重点を置くのではなく「休息できる」敷居の低さに重きを置いた周知啓発をお願いしたい。

予算案の審査が全議員で構成する予算特別委員会の各分科会(総務・民生文教・建設公営企業)で行われました。分科会では、行財政運営、市民生活、保健福祉、まちづくりなどの予算に関して、活発な質疑応答がなされ、多くの意見・要望が出されました。

最高の学びができる芦屋

心のケア支援推進事業(PEACEサポーター配置事業) …… 1,123万7千円

- 新たにPEACEサポーターを7名増やしているが、児童、生徒に関わる時間を区切ったり、免許を有していない会計年度任用職員が配置されるのは教育的観点から不十分である。正規職員を配置するなどの検討を行うよう求める。
- 学級に通うことができない場合にPEACEサポーターを配置することで支援の体制が図られることは評価するが、さまざまな要因がある中で、サポーターに資格を問わないことについては懸念がある。研修も行いチームでの支援となるが、専門知識があるに越したことはないため、資格のある方の採用を求める。
- 小学校について、校内サポートルームでの複数名利用に対応できるようにPEACEサポーター増員も含めた適切な体制整備を求める。



中学校部活動の地域移行検討事業 …… 252万円

- 地域移行の過渡期ではあるが、スムーズな移行となるよう団体や地域への情報連携に努めてほしい。

その他の事業に対する要望等

第5次芦屋市総合計画(後期基本計画)の策定 …… 1,332万2千円

- 総合計画策定には膨大な時間、労力、経費を要する。平成23年の地方自治法改正を受けて策定義務がなくなったことから、次期改定に当たっては、総合計画から指針等への変更や、先進自治体の取り組みも参考に検討を求める。
- 総合計画は、市の計画において最上位に位置付けられるものであるため、外部業者に依存することなく、職員自らの手で策定するよう強く求める。



執務スペースの適正化と新たなワークプレイスの創出 …… 792万8千円

- フリーアドレスは一般的に「誰がどこに座っているかわからない」という課題がある。業務の効率を下げることにもつながるため、誰がどこで執務をしているかを簡単に可視化できるような仕組みを検討してほしい。

幼稚園の教育振興に要する経費 …… 477万1千円

- 小槌幼稚園では、新入園児は5名と見込まれるなど、この1、2年で存続を決めなければいけない窮地だと考え、早期の3年保育の実施推進を求める。

予算に対して会派から一言

あしや政風会

こども医療費の所得制限撤廃や産後ケア事業の拡充、カラス等鳥類による被害対策、地域公共交通の実証運行など、市民や地域の要望を確実に実現してくれたと評価する。教育においては、これまで課題であった不登校の児童生徒に対する取り組みが拡大することやPEACEサポーターを各小中学校に配置し支援の輪を広げていくことで、子どもたちの教育の機会が担保される教育行政に期待する。JR芦屋駅南地区再開発事業は令和11年の完成を目指し、迅速に進めるよう要望する。

日本共産党

こども医療費助成の拡充、学校体育館の空調設備の設置、不登校支援事業、高齢者生活支援センターの増設、デマンド交通の実証実験、JR芦屋駅南地区再開発など、これまで課題であった施策が前進することは評価する。しかし、長引いたコロナ禍と物価高騰に苦しむ市民に介護や後期高齢など各種保険料の引き上げが追い打ちをかけている。貧困と格差拡大に対する問題意識が施政方針に見られず残念である。また、憲法の平和や地方自治の理念を行政に反映させることを強く求める。

公明党

会派として訴えてきた、こども医療費助成制度の拡充や防災行政無線システム更新・防災情報システム導入事業、いじめ・ひきこもり・不登校対策、体育館の空調設備の推進などが予算に反映されていることを評価する。DXやICTの推進では、SDGsの「誰一人取り残さない」に留意し、今後もICTに対応が難しい方への配慮をお願いする。令和6年度は阪神・淡路大震災から30年。地域防災の支援強化と同時に、物価高、人口減少、高齢社会などに対して慎重な財政運営を求める。

日本維新の会

敬老祝金支給事業の廃止や市職員の給与制度の改正など大きな制度改革を進めている一方で人件費は増大しており、今後の財政運営はますます慎重にならないを得ない。「選択と集中」は事業の本来の目的が何なのかを踏まえて選択し、市民全体のサービスの維持・向上に努めることを求める。また、子どもたちが傷つくことなく健やかに育つための環境整備、JR芦屋駅南地区再開発事業、環境処理施設の広域化については市一丸となって取り組み、解決するよう求める。

至誠会

市税収入は定額減税の影響で微減を見込む一方、歳出増加は物価高騰対策や児童手当増額による民生費や、賃金アップの世情を背景に人件費を含む総務費で顕著である。財源不足は基金の取り崩しで補うが、基金残高の減少は緊急時の備えを脆弱にさせる。国際情勢の緊迫化、南海トラフ地震の懸念など社会経済の不確実性は増し、本市財政への影響も少なくない。令和6年度は震災から30年、元日に発生した能登半島地震を教訓に、非常時の備えを市民と共に再検証する年度とされたい。

芦屋みんの未来

令和6年度の施政方針や予算編成から、こども・子育て施策を中心に展開していくことが、はっきりと表れており、とても好感が持てる。一方、高齢者には、もう少し予算面での配慮があってもいいのではとも感じた。事業の取捨選択を行う上で、お金のことばかり考えてしまい、市民にとって正しい意思決定が下されなくなるのは本末転倒である。正しい意思決定により、市民に期待感を持ってもらえるようなまちづくりを、高島市政と共に進めていきたい。

総括質問



詳しくは市議会ホームページ「議会中継」(右記QRコード参照)をご覧ください。

詳しくはこちらから▶

3月定例会では、各会派の代表者が市長の施政方針に対して総括質問を行っています。今回は2月29日・3月1日の2日間に6会派の代表者が質問をしました。

あしや政風会

質問者：福井 利道

芦屋の教育行政は誰のためにあるのか

議員 住宅都市芦屋としての教育は、これまで特に重要視され、社会情勢により必要な対応を取り、あるべき姿と市民ニーズを両立させてきた。高島市長が誕生し市民の教育に対する期待が高まったからこそ、目指すべき教育の姿と責任の所在を示してほしい。
教委 目指す教育は、第3期芦屋市教育振興基本計画の基本理念のとおり、「信頼される学校園と成熟した家庭・地域で育む豊かな人間力」の育成であり、めざす子ども像は、「夢と志をもって自らの未来を切り拓く子ども」の姿である。

教育行政に対する最終責任者は、教育長であると認識している。

議員 不登校対策と併せて不登校ゼロに向けた、教育の機会を担保するための目標を設定し、危機感を持って進めべきでは？
教委 目標数値の設定は、芦屋の教育の進むべき方向性を明確にする上で必要である。評価については、目標数値への達成度だけで測るものではなく、検証結果を共有し、実行に移すプロセスも重要であると考えている。

議員 インクルーシブ教育の理念とかけ離れた現実をしっかりと把握し、施策を継続するならば、教員等にさらなる理解を求める動きが必要ではないか。
教委 教員の資質が大事であるため、特別支援コーディネーター研修等を通じて、寄り添うということの意味、周りとのつなぎ方等もしっかり研修していきたい。

議員 中学進学時の英語教育が重要であるため、子どもに苦手意識を持たせないような進め方を求める。
教委 小学校ではなれ親しむためのアフティビティをしていたところ、中学校では単語を覚えたり、スペルを書いたりといったギャップに、少し抵抗があるのではないかと感じている。

公明党

質問者：田原 俊彦

芦屋の未来に向けて

議員 神戸市との環境施策の広域連携の協議を進めている目的は何か。

市 地球温暖化対策、循環型社会の形成および持続可能な社会の推進であり、そのためにも人口減少なども考慮した未来志向のごみ処理政策を目指している。

議員 総合公園は、木々や草花も多い。紹介する広報に力を入れてはどうか。また、ドッグランの設置の協議は、どこまで進んでいるのか。

市 広報あしや等で周知しているが、今後は季節ごとの魅力や園芸講習会等について、SNSやホームページ等を活用し、さらなる情報発信に努める。

議員 ドッグランの設置時期は示せないが、現在、他市施設の調査や利用ルール等の管理面の課題整理などに、指定管理者と共に取り組んでいる。

防災について

議員 毎月17日に「防災」について考える取り組みはできないのか。

市 震災30年を機に、防災部門のSNSにおいて、防災意識の啓発・向上を図るため、毎月17日に、自宅の安全対策や備蓄の目安など、口頭からの災害への備えについて、定期的・継続的な発信を行う。

議員 避難所運営は女性の視点が重要である。災害時に「女性総合相談窓口」を設置してはどうか。

市 多くの女性のニーズを素早く支援につなげられるよう、相談窓口の体制や周知方法を研究していく。

マンション管理の適正化へ

議員 マンション管理の適正化に向けて、市内外の団体とも連携するの否か。

市 管理組合等の皆さまに安心して相談してもらうため、弁護士・建築士・兵庫県マンション管理士会、ひょうご住まいサポートセンター等との連携を予定している。

議員 マンションの劣化調査診断の補助制度を設ける考えはないのか。

市 必要な支援策等については、条例に基づき届出による実態把握等を踏まえ、検討していく。

至誠会

質問者：寺前 尊文

ワンチーム芦屋に向け市民・職員との対話を

議員 新年度の施政方針は、対話集会や行事参加の場で市民の意見を聴くことが市長の心を動かし、施策決定の動機付けになったことが感じ取れた。令和6年度中に市民と対話したいテーマ、開催方法の方針はあるのか。

市 上半期は5月に「市民生活・安心安全」、8月に「都市基盤・行政経営」をテーマに開催する。下半期は検討中だが、上半期と同様の頻度を予定している。また、新たに平日午後の時間帯の開催を設定することにも、オンラインでの開催も予定している。

議員 職員の内心にある業務改善、市民サービス向上につながる知恵を引き出すことが「世界で一番住み続けたいまち芦屋」を実現する過程に不可欠である。職員との対話において市長が取り組もうとすることは何か。

市 職員との対話については、重要だと考えている。令和6年度は、若手職員も含め、対話の機会を設けることで、職員と一致団結して課題に立ち向かう、前向きでワンチームの市役所をつくっていききたい。



令和5年度に実施した対話集会の様子 (写真提供:秘書・広報課)

震災30周年に向けて

議員 阪神・淡路大震災から30年、大規模災害の窮地から復興した経験は貴重な行政財産である。震災の記憶を風化させないため、次世代へ経験を伝承するため、市民の心に刻み込むような30周年事業を期待する。

市 震災30年事業については、追悼式典の開催および1・17あしやフェニックス基金事業の拡充を図る。また、防災総合訓練など、市の主催事業に加えて、市民グループ、団体等が企画し実施する防災関連事業を募集し、30年事業として位置付けることで、防災意識を高め、記憶の風化を防ぎ、未来に向けた災害対応力を育んでいく。

日本維新の会

質問者：橋本 隆

JR芦屋駅南地区再開発事業について

議員 再開発について市民への情報発信が弱い。芝生広場や東西道路の計画変更、工期延期等、ネガティブな情報も含めて、本事業をどのように進めるのか、積極的に市民に情報発信すべきであると考え改善を求める。

市 このたびの計画見直しの検討については、原案に戻したのではなく、東西道路の廃止といった大幅な見直しを断念し、原案の形状をベースに少し修正を加えたものである。

しかしながら、議員を含め多くの皆さまに、計画の見直しを諦めて原案に戻す等の理解に至らせてしまったことについては、説明的的確さに欠けていたと真摯に受け止めている。今後は、適切なタイミングに、より分かりやすい情報発信に努めていく。

議員 工期遅延により1億円近い損失があることを確認したが、竣工が遅れることによる機会損失は含まれていないのか。

市 遅延の影響については、さまざまなものがあり、金額を精緻に見積もるには困難であるため、現時点で考えられるおおよその見込額として言及したものである。

また、社会情勢や資材高騰等で金額が上下する可能性がある。

ごみ処理の広域連携について

議員 神戸市との広域化を前提に本市の焼却炉を廃炉とした場合、ごみ処理を他市に依存する状態となるが、対等な立場で本市の主張も考慮した契約となるのか。

また、時間の経過とともに経済条件の改定や運搬ルートの変更等、本市が不利となるリスクはないのか。

市 神戸市との広域連携については、将来にわたり、環境に配慮した安定的で効率的なごみ処理を両市で目指し、協議を進めている。今後も神戸市との議論を深めるとともに、経費負担の考え方や災害発生時の対応などの課題についても、引き続き協議していく。

日本共産党

質問者：川島 あゆみ

「困難を抱える市民」への向き合い方について

議員 市長の施政方針では、行政を頼らない市民像を評価しているように読み取れるが、生活に困難を抱え声を上げられない市民のことをどう考えているのか。

市 これまで市民の皆さまの最も身近な行政主体として、現状を把握し、生活を守るために必要な施策を適切に実施してきた。行政の責務は、住民の福祉の増進を図ることを基本とした公共サービスの提供であり、今後もこの姿勢を大切に市政を運営する。

教育改革について

議員 「PEACEプロジェクト」でスタートさせる取り組み(有志の教員で取り組む研究などは、教職員の長時間労働が問題視される中、現場の意向を反映させたものなのか)。

教委 現場には指導主事が回っており、状況をよくつかんだ上でビジョンを示している。その中で、これまでのことを見直して、取り組みに深みをつけていくことを現場と一緒に進めていきたい。

議員 市長が教育に力を入れていることと、教育への「介入」は紙一重と感じる。どのように線を引きなのか。

市 教育委員会と市長部局とは、できることに差があり、法令にのっとって事業を進めていくものであるため、これからは適切に線を引き進んでいきたい。

JR芦屋駅南地区再開発事業について

議員 事業が1年遅れることや、既存の計画案のままを進めることについて、市民へ市長自身の言葉でどう発信していくのか。

市 このたびの計画見直しの検討に関する経緯と結果は、ホームページにも記載しているが、今後改めて適正な時機に市民の皆さまに対して、直接説明する機会を設けたいと考えている。

芦屋しみんの未来 質問者：たかおか 知子

「人」への投資に力を入れる子育てと教育の方針

議員 市長の「対話を中心としたまちづくり」を支持する。学校園等で子どもたちの心のケアを重視するならば、口頭、現場でしっかりと子どもたちの様子に目を配り学校施設を整備し、すべての子どもに公平な学びを提供するための予算配分を行うべきではないか。

教委 施設整備に関しては、学校の建設時期により標準の設備が異なるという背景がある。しかし、空調については議会からも度々、要望されていたこともあり、このたび大きな決断をした。

また、椅子や机の不備についても、毎年古いものについては入れ換えている。できる限りの施設整備を計画的にやっていきたい。

議員 いじめ問題は、法的な知識は必要だが、まずは子どもたちの心に寄り添い、子どもたちが話し合いの場を持つ体制の強化が大切ではないか。

教委 一番寄り添わないといけないのは、そこに居合わせる子どもたちと教師だと考える。そのため、人権を侵害している行為が子どもに分かる形で、専門家の弁護士に授業をしていただく。それをきっかけに、実際の教室の自分たちの前で起こっていることを、担任がつかないでいく形で考えている。

また、学校には養護教諭もおり、十分心に寄り添う体制としては整えている。

議員 街路樹の管理に関しては、文化的価値を持つ自然環境の保護と歩行の安全を比較し考慮する視点が重要と考えるがどうか。

市 街路樹に限らず、景観と安全の部分のバランスを取るのには非常に難しいが、両方に配慮しながら進めている。

議員 市民、市長、市職員がいつも緩やかにつながり連携しながら、ワンチームとして市のさらなる発展に寄与する組織体制を期待するがどうか。

市 施政方針では、対話を中心としたまちづくりを進めていく中で、対話集会の中の話も盛り込んでいく。また、職員から直接聞いた話も含めて、この1年間で聞いてきた声を反映している。

令和6年3月定例会の審議結果

議案の詳細は
こちらから



請願などの詳細は
こちらから



◆全議員が賛成した議案

条例	[新規制定] マンションの管理の適正化の推進に関する条例 [一部改正] 打出教育文化センター条例/国民健康保険条例 など11件
予算	[令和6年度予算] 国民健康保険事業特別会計 など8件 [令和5年度補正予算] 一般会計(第10号)/病院事業会計(第2号) など9件
一般案件	JR芦屋駅改良工事等の施行に関する変更協定の締結 など2件
人事案件	教育委員会教育長・教育委員の任命/固定資産評価審査委員会委員の選任 など4件

◆賛否の分かれた議案等

件名	あしや政風会		日本共産党 芦屋市議会 議員団		公明党		日本 維新の会		至誠会		芦屋 しみんの 未来		会派に 属さない 議員		議決結果					
	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	賛成	反対	棄権			
企業版ふるさと納税基金条例の制定	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	4	0
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3	0
職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3	0
特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	2	2
指定地域密着型サービス・指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3	0
指定居宅介護支援等・指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3	0
介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	4	0
敬老祝金条例の廃止	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	6	0
一般会計	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	1	0
介護保険事業特別会計	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	4	0
後期高齢者医療事業特別会計	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3	0
三条津知財産区共有財産会計	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3	0
議員提出議案 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	4	0
請願 「健康保険証の存続を求める意見書」の提出に関する請願書	×	×	×	×	×	○	欠	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	6	13	0

※「○」…賛成、「×」…反対、「欠」…欠席、「棄」…棄権、「-」…議長(議長は表決に参加しません。)

議会報告会を開催しました

開かれた議会を目指して、議会の仕組みや活動をより知っていただくとともに、市民の皆さまから直接意見を聴くために、本年1月30日・31日に市役所本庁舎(大会議室)で建設公営企業・民生文教・総務の常任委員会ごとに議会報告会を開催しました。報告会では、いずれの委員会でも芦屋市議会の概要と議会改革の取り組みについて説明を行った後、委員会ごとのテーマについて市民の皆さまと意見交換を行いました。

ご参加いただいた市民の皆さまからのご意見等の一部を紹介します。

※詳しくは市議会ホームページ「令和5年度議会報告会」(右記QRコード参照)をご覧ください。



私たちの身近な「交通」(バス・自転車など)

【建設公営企業常任委員会】

- 自転車事故が増加傾向にあるが市議会としての取り組みはあるのか。
- 阪急バスのバス停で屋根がないところ(南宮町、開森橋)がある。
- 稲荷山線について、阪神電車の高架化は予定されているのか。
- JR線以北の開発は縮小されているが、将来的な構想はあるのか。



子育てと教育～魅力ある芦屋の未来のために～

【民生文教常任委員会】

- 市長と教育委員会・議員がもっと対話をしてほしい。
- 芦屋の歴史をもっと学び、芦屋に誇りの持てる教育をしてほしい。
- 子どもの教育では、もっと探究活動を増やしてほしい。
- 国や県からの要望が多過ぎて、学校の先生の負担が増す一方だ。



市民が参加しやすく次代につながる地域づくりについて

【総務常任委員会】

- 他の自治会がどのように活動しているのかを知りたい。
- 地域活動に参加したくない方の理由を知りたい。
- 担い手不足は自治会だけでなく、趣味などのグループでも課題となっている。
- 若い市民が参加しやすい地域活動について、もっと声掛けを行ってはどうか。



京都府城陽市とオンライン視察を行いました

本年1月12日に、議会運営委員会において「YouTubeによる議会中継」について視察を行いました。城陽市では、本会議と委員会でインターネットによる配信方法が異なり、委員会をYouTubeで配信しています。視察の中ではYouTube配信のメリット・デメリットについて重点的に確認しました。今後も市議会の活動状況をより身近に、分かりやすくお知らせできる方法や工夫について研究していきます。



オンライン視察の様子

詳しくは市議会ホームページ「視察報告」(右記QRコード参照)をご覧ください。



議会のナゼ? なに? 再発見!

議会クイズ 第46回

◆問題 【出題者】原なつ子委員

令和6年4月1日から産後ケア事業が拡充されましたが、既存の宿泊型、通所型に加えて新設されたのは何でしょうか。

- ①地域密着型
- ②支援型
- ③訪問型

◆前回のクイズの答え ※前回の応募件数は97件

「昨年の総務常任委員会の行政視察は、11月14日～15日に行われました。次の中で、1つだけ視察先ではないまちがあります。さて、どのまちでしょうか。」の正解は「③茨城県ひたちなか市」でした。

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(1,000円分)を差し上げます。正解は8月発行予定のあしや市議会だより129号で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。



議長・副議長による抽選会

◆応募方法

「専用フォーム」、「電子メール」、「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見や感想を明記してご応募ください。

※メールで応募する場合、件名は「第46回議会クイズ応募」としてください。
※頂いたご意見は全て、本誌編集委員が目を通し、今後の誌面改善のための参考にさせていただきます。

◆応募締め切り

令和6年(2024年) 5月27日(月)まで

※当日消印有効

◆応募先

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号

芦屋市役所 市議会事務局

メールアドレス: gjityousa@city.ashiya.lg.jp

※個人情報や賞品の発送以外には使用しません。

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



QRコード↑
(専用フォーム)

市議会ホームページで なにができる?



芦屋市議会

市議会だよりの電子版を読む

市議会だよりのPDF版を掲載しています。また、スマートフォンアプリ「マイイロ」も利用可能です。(アプリの利用方法も併せて市議会ホームページに掲載しています。)

会議の予定を調べる

本会議や委員会の開催予定、本会議での一般質問・総括質問の質問順や質問内容を掲載しています。

本会議・委員会の中継映像を見る

本会議・委員会の中継映像を配信しています。また、会議終了後、おおむね3日後から1年間は録画配信もしています。スマートフォンやタブレット端末でも閲覧が可能です。

過去の会議録を調べる

本会議や常任委員会等の会議録を調べたり、見たりできます。

政務活動費や議会交際費をチェックする

政務活動費の報告書や領収書、議会交際費の用途と金額を掲載しています。

議員の連絡先を調べる

議員の連絡先を掲載していますので、直接話がしたい場合などにご活用ください。また、所属委員会・会派・政党なども掲載しています。

議案書・委員会資料などを見る

審議に使用する議案書、請願書、審議結果、議員一人一人の賛否などを公開しています。また、委員会で使用する資料や、委員会に送付した陳情書も公開しています。

請願や陳情の提出方法を調べる

議会に対して請願や陳情を提出するための方法などを掲載しています。

6月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・委員会(議会運営委員会を除く)のインターネット映像配信を行っています。パソコン・スマートフォンなどでご覧ください。また、日程が変更になることがありますので、ホームページなどで確かめください。

月	火	水	木	金	土	日
6/3	4	5	6	7	8	9
	議会運営委員会	本会議(提案説明)	建設公営企業常任委員会	民生文教常任委員会		
10	11	12	13	14	15	16
総務常任委員会			委員会(予備日)	議会運営委員会		
17	18	19	20	21	22	23
本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問等)	委員会(予備日)			
24	25	26	27	28	29	30
			議会運営委員会	本会議(採決)		

●本会議・委員会の開始は、原則午前10時からです。

編集後記

3月議会で令和6年度予算が決定しました。当年度の予算は前年度に編成されるため、新体制となり初めての予算審査となりました。限りある財源において、市民の皆さまがどのような市民サービスを望まれているのか、市と議会ですっかり審議し市民の皆さまの要望が具現化されております。

【編集委員】 橋本 隆

※5月17日に臨時会(本会議)を開催し、議会役員を選出などを行う予定です。